

日高地域における搬出間伐（列状）の普及推進に向けた取り組みについて

日高北部森林管理署 業務グループ
北海道日高振興局 森林室平取事務所

佐々木 颯
鳥居 宏臣

背景・目的

<背景>

日高地域の私有林では、搬出間伐の事例が少なくイメージ出来ない等、搬出間伐が進まない状況

<目的>

日高振興局森林室平取事務所及び沙流川森林組合と連携した、日高町（日高地区）における、地域の列状による搬出間伐の普及と、列状間伐の実施事例の増加を目的とした取り組み

活動の内容

列状間伐の実施について、林分現況の見せ方の工夫や、列状間伐事例の紹介等を通じて解りやすく提案し、森林所有者に列状間伐への理解を得る取り組みを実施しました。

<取組項目>

1 現状の把握

① 間伐予定箇所の林分調査

10m×10mの簡易な標準地調査により「森の健康診断書」を作成

② ドローンを活用した現況把握

対象地の面積6.16haをドローンにより動画や写真を撮影し、3D画像等を作成



ドローンを活用した3D画像

2 列状間伐勉強会の実施

理解を深めてもらうため、国有林の列状間伐を実施箇所で施業方法等に関する勉強会を開催



列状間伐勉強会(国有林)

3 伐採搬出想定図等の作成

間伐における伐採搬出の想定図の作成に向けた現地把握の実施

4 森林所有者へ施業提案

林分の現況説明や今後の施業方針について、間伐時の伐採列・路網の付け方等の具体的な施業方法、事業実行にあたっての事業費や交付金に関する説明と提案



所有者への施業提案

活動の成果

○森林所有者から、列状による搬出間伐への理解が得られ、「来年秋頃に列状間伐を実施する」との回答を頂きました。

○今年度の取り組みを通し、平成30年度から34年度にかけて近隣の私有林を集約し列状間伐を実施していく計画を立てることができました。このことから搬出（列状）間伐の実績増加及び定着が期待できると考えられます。

今後の展開

今回、一定の成果は得られましたが、私有林における搬出間伐（列状間伐）の普及推進については、各森林所有者から多くの理解を得るために、継続的に取り組むべき地域課題であると考えています。

各関係機関との連携をより一層強め、更なる普及・定着を目指して今後とも取り組みを進めていきます。